



図書館情報大学実習生 実習体験記

今年は、9月2日(月)~20日(金)の3週間、図書館情報大学の学生10名が中央図書館で、図書館情報学の実習をしました。

中野 倫靖

筑波大学附属図書館での実習では、カウンター業務・レファレンス業務・相互貸借業務といった、いわゆる図書館の表向きのサービスを主に体験させていただき、多くのことを学びました。大学の講義では、図書館でのこれらのサービスについて学んできたのですが、実際にカウンターに立った時にはその時の知識がなかなか出てきません。例えば、大学の講義でレファレンスサービスに関するものがあり、そこで様々なツールの使い方を習いましたが、実際の質問には、回答をその場で思いつく必要があり、これは経験がモノをいいます。

また、図書館の裏の作業とも言えるサービスも体験させていただきました。セルフリーディング・不明本調査・督促業務などがこれにあたります。この中でも特にセルフリーディングと不明本の調査は、図書館自体が巨大であり、蔵書数も非常に多いため、体力・気力の勝負となります。実際に経験し、その大変さ、重要さについての感覚的な知識を得ることができました。

図書館でのボランティアの見学も非常にためになりました。特に、対面朗読のボランティアの見学は大変良い経験でした。

本実習を通して、図書館というものが以前より分かってきました。ありがとうございました。

(なかの・ともやす 図書館情報学科4年)

宮本 麻衣子

今回の実習では主に目録業務に携わりました。目録業務はカウンター業務やレファレンス業務とは異なり、利用者に直接サービスを提供する業務

ではありません。しかし、目録作成時には利用者が図書を探しやすいように、分類番号を付与し、図書の整備を行うなど間接的サービス提供を体験することができました。今まで私が利用者として目にしてきたサービスは、図書館で行われているサービスの中でほんの一部であることを実感しました。

また、実際の図書館の目録は、大学での演習で作成した学習用目録とは比較できないほど慎重に作成しなければならないことも、作成された目録を多く目にし、自分で新たに作成することで理解することができました。

実習全体を振り返ると、大学で学んだことを単独で、もしくは合わせて活かせる場面もあり、限られた3週間で充実して過ごすことができました。また、図書館で働きたいという思いは一層強くなりました。しかし、職場としての図書館では授業で与えられた知識だけでは不十分なことも実感し、より深い理解を得るために自ら能動的に取り組む必要性を感じました。今回の実習は自分の学習を振り返る良い機会であったと思います。

このような機会を与えてくださった筑波大学附属図書館の皆様には深く感謝しています。

(みやもと・まいこ 図書館情報学科3年)

星 麻佑美

今回の図書館情報学実習において、私は雑誌コースを担当させていただきました。

雑誌と言いましてもさまざまな種類があり、それを実装し、種類や用途、配架場所別に区分けする作業は、想像以上に大変なものでした。

特に筑波大学附属図書館には今まで私が利用してきた図書館とは比べ物にならないほどの雑誌が毎日のように配送されてきます。それに加えて、いろいろな団体からの寄贈雑誌の受け入れや、バックナンバーの取り寄せなど、仕事の種類も多種

多様で、毎日いろいろな作業を体験させていただきました。

少し残念だったのは、毎日大量の雑誌と向き合うばかりで、利用者の方との交流が出来なかったことです。しかし、利用者と同じような目に見える場所だけが、図書館職員の現場ではない、という事を知りました。指導していただいた職員の方がおっしゃった「縁の下の力持ち部署」とい

う言葉に、このように利用者から見えないところにも、たくさんの職員がいて、そんな方たちが図書館を支えているのだな、と感じました。

最後になりましたが、このような貴重な体験をさせていただきました。雑誌受入、雑誌サービス両係の皆様にお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

(ほし・まゆみ 図書館情報学科3年)

本学教官寄贈著書紹介

平成14年7月～9月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介します。

(敬称略、寄贈者五十音順、所属は平成14年度のもので、〔 〕内は配架場所と配架番号です。)

石井健一 (社会工学系)

- ・日本、韓国における社会・文化の相互影響の調査研究 / 小針進, 渡辺聡共著. 2002
[中央 361.5-Ko27]
- ・インターネットの利用動向に関する実態調査報告書 2000 / 久保田文人 [ほか] 共著. 通信総合研究所, 2001 [中央 007.56-I57]
- ・インターネットの利用動向に関する実態調査報告書 2001 / 久保田文人 [ほか] 共著. 通信総合研究所, 2002
[中央 007.56-I57-2001]

稲垣泰一 (文芸・言語学系)

- ・今昔物語集 3 / 馬淵和夫, 国東文麿共校注・訳. 小学館, 2002 (新編日本古典文学全集: 37) [中央 918-N77-37]
- ・今昔物語集 4 / 馬淵和夫, 国東文麿共校注・訳. 小学館, 2002 (新編日本古典文学全集: 38) [中央 918-N77-38]

掛谷英紀 (機能工学系)

- ・日本の「リベラル」: 自由を謳い自由を脅かす勢力. 新風舎, 2002 (Shinpu books)
[中央 302.1-Ka24]

勝田 茂 (名誉教授)

- ・科学の目で見たテニスレッスン / 蝶間利男, 佐藤政廣共著. ベースボール・マガジン社, 2000 [体芸, 図情 783.5-C53]

加藤行夫 (文芸・言語学系)

- ・悲劇とは何か. 研究社, 2002
[中央 901.2-Ka86]

河野惟隆 (社会科学系)

- ・法人税法減価償却の新解釈. 税務経理協会, 2002 [中央 345.3-Ko76]

徳田克己 (心身障害学系)

- ・ホームヘルパーのための障害者ケアハンドブック: 障害者を正しく理解し、支援するために. 日本医療企画, 2002 (ホームヘルパー現任研修テキストシリーズ; 7)
[中央 369.2-H83-7]

松本 宏 (応用生物化学系)

- ・Herbicide Classes in Development: Mode of Action, Targets, Genetic Engineering, Chemistry / edited by Peter Böger, K, Wakabayashi, Springer, 2002
[中央 615.87-B62]

本橋信義 (数学系)

- ・数学と新しい論理: 数学的帰納法をめぐる. 遊星社 / 星雲社 (発売), 2002
[中央 410.96-Mo83]